

目に見える「評価」システム

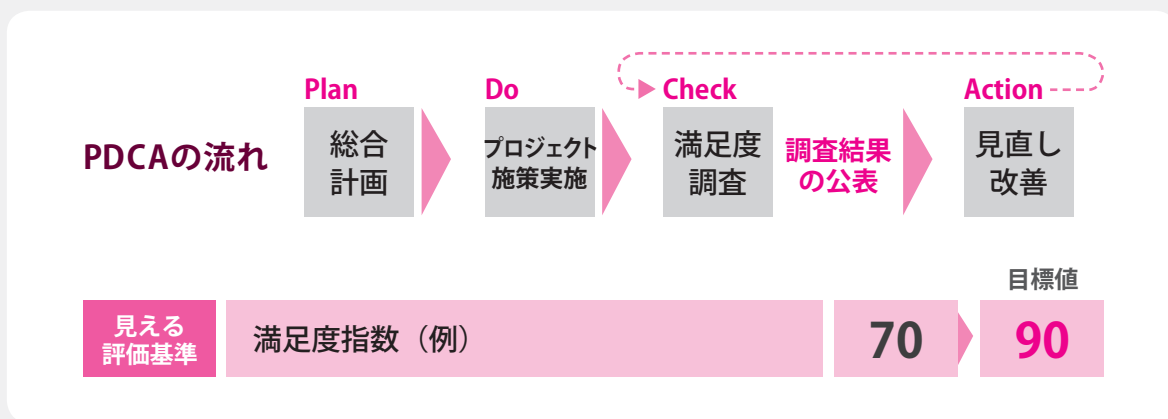
本計画を確実に実行するためには、開かれた情報公開とともに、誰もが達成状況を確認できる評価システムが必要です。PDCA (Plan — Do — Check — Action) のサイクルにより、施策の実効性を高める好循環の構築を図り、住む人にも訪れる人にも満足度の高いまちをめざします。そのため、住民満足度調査により数値目標を具体化していきます。

基山満足度プロジェクト

本計画では、これまで計画の進捗状況としてしか評価ができなかった達成度について、町民の実感に基づく指標のもとに数値目標化し、目に見える評価基準をつくるために、中間年にあたる平成32年にも町民満足度調査の実施、公表、検証を行い、満足度の高いまちをめざします。

※町民満足度調査とは…

基山町が行う事業などに対し、町民がどの程度満足と感じているか、また、重要と感じているかを把握し、その結果を行政評価などに活用し、行政サービスの改善に資することを目的に行うものです。



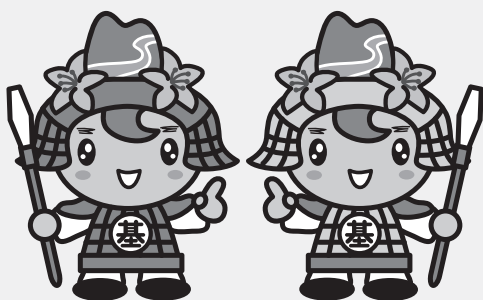
■ 目に見える行政の変化が満足度につながる ■

行政目標

変化を恐れず三歩前へ！

基山の満足度を引き上げる経営集団へ

住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまちをめざしていくためには、行政が経営視点で満足度を引き上げていく必要があります。高い自治能力を發揮していくためには、町民と職員の信頼関係を構築し、自ら地域へ赴き、現場の声をひろい、前に出る姿勢をもつことが大変重要です。長期的な満足度に関わると判断される事例には、変化を恐れず、満足度の実現のために具体的な行動を起こします。



計画の特徴

本計画は、次のような特徴をもち、町民・企業・行政が協働で活用できる「まちづくりの教科書」として位置付けます。

① 町民と行政が未来を共有し、協働で取り組む計画
 ↳ 「基山町まちづくり基本条例」を

具体化した総合計画へ

基山全体で取り組む気運を醸成し、「基山町まちづくり基本条例」を具体化させ、『町民の視点』『協働の取組』を反映させる計画とします。

② まちの魅力とブランド力を高める計画

↳ 「基山町のシティプロモーション」を

展開できる総合計画へ

対外的な視点から基山町をどのようなイメージで打ち出していくかというシティプロモーションの方向性を示し、目に見える価値づくりを取り入れた計画とします。

③ 行政の経営指針として活用できる計画

↳ 計画の実施状況と成果がわかる、

評価ができる総合計画へ

行政の経営指針としてなりうる計画として、ハード・ソフトのあらゆる視点で指標化し、町民の満足度など成果を評価できる計画とします。

計画の構成と期間

総合計画は、「新、基山構想」と「基本計画」で構成し、さらにこれを具現化するために「実施計画」を策定します。

① 新、基山構想（基本構想）

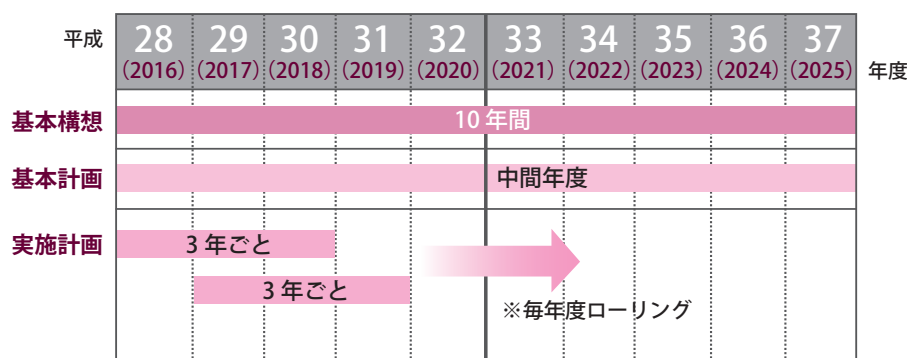
平成28年度～平成37年度（目標年次…平成37年度）新、基山構想は、町の将来像及び施策の大綱により構成する計画とし、平成28年度から平成37年度を目標年度とする10か年の計画とします。

② 基本計画

基本計画は、「新、基山構想」に掲げる将来像を実現するために、取り組むべき主要な施策を分野ごとに明らかにして体系化する10か年の計画とし、施策体系ごとにめざすべき姿（こんな基山にしよう）を設定しています。計画については、平成32年度を中間年度とし、進捗状況を検証します。その上で、検証に基づき必要な計画の再構築を行うことにより、「新、基山構想」の実現を図ります。また、基本計画の進捗状況を管理するため、各施策に目標値（指標）を設定します。

③ 実施計画

平成28年度～平成30年度、その後、平成37年度まで毎年見直します。基本計画に示した施策への具体的な取組や実施期間を明らかにした短期的な計画で、毎年度における予算編成や事業実施の指針とします。期間は3年間とし、平成28年度を初年度として、3か年計画で毎年度見直すものとします。



※問合せ先

総務企画課 総合計画推進係

☎ 92-2188